

付・2011年度 尾道学講座紹介

『尾道、まちと人』

主催：尾道市立大学（旧 尾道大学）地域総合センター

日時 9月28日（水）～11月2日（水）

開場 18：00

公演 18：30～20：00

場所 しまなみ交流館 大会議室

第1回 9月28日（水）

「いい町って、こんな町だとボクは思う」 小川 長（経済情報学科 准教授）

今、日本全国どこもかしこも町起こしだ、活性化だと、とても喧しい。その割には、あまりうまくいったという声を聞かない。それはきっと、ここが抜けちゃってるからなんだ。

第2回 10月5日（水）

「高垣眸作品研究序説」 藤沢 毅（日本文学科 教授）

尾道出身の作家・高垣眸の作品の研究を始めようと思います。まずは書誌学的方法をも使いながら、『ジャガーの眼』『まぼろし城』『ダイアナの瞳』『謎の花簪』などを取り上げ、分析の基礎を築いていこうと考えています。

第3回 10月12日（水）

「地域とデザイン」 高岡 陽（美術学科 准教授）

地域とデザインに対する考え方と、2008年から行っているデザインワークの状況報告、今後予定しているプロジェクトの概要やその進行状況などをお話いたします。

第4回 10月19日（水）

「尾道ベッチャー祭り考」 田村 禎英（美術学科 准教授）

尾道ベッチャー祭り二百周年を期に収集した資料や研究を基に、他の祭りとの比較から尾道ベッチャー祭りの起源や秘密に迫ります。二百年祭の模様を記録した映像も上映いたします。

第5回 10月26日（水）

「尾道をめぐる/物語——地図、パランプセスト、聖地巡礼」

小畑 拓也（日本文学科 准教授）

「文学作品」「映像作品」などの尾道を「めぐる」物語を「読む・見る」ことの延長線上には「聖地巡礼」という比喩で語られる尾道を「巡る」行為があります。実在の尾道に上書きされた虚構の「尾道」が創りだす「尾道の地図」の楽しみ方を、文化研究の観点から考えてみたいと思います。

第6回 11月2日（水）

「徳川期尾道地域における手工業の発展構造」 勝矢 倫生（済情報学科 教授）

江戸時代の尾道は、商業都市であるとともに、帆・錨・農器・切石・酢など多数の特産品を持つ工業都市でもありました。農村部では畳表の生産も活発に行われました。徳川期の尾道地域における手工業の発展過程についてお話しします。

■執筆者紹介（掲載順）

小川 長（おがわ おさむ）

尾道市立大学経済情報学部准教授。博士（経済学）。中小企業診断士。経営戦略とマーケティング専攻。

いたって明朗活発、抜群にポジティブ。最も大切なのは「自由」。信念は「人生は必ずよくなる。それが私の人生であれ、他者の人生であれ」ということ。人生のミッションは「人が最高の人生を送るために、その実現に貢献する」こと。特技は「目標を定めて、それを達成する」こと。座右の銘は、上杉鷹山公の格言「なせば成る、成さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」です。

もちろん、研究もしっかりやっています（本学ホームページの「教員紹介」をご覧ください）。

勝矢 倫生（かつや みちお）

尾道市立大学経済情報学部教授。経済情報学部長。博士（経済学）。日本経済史専攻。

専攻分野は徳川期の社会経済史で、大学では、「経済史」「日本経済史」、大学院では、「日本経済史特論」などを担当しています。これまで、広島藩と福山藩の農政史・農業史・農村史を中心に研究を進めてきました。著書として『広島藩地方書（じかたしよ）の研究』などがあります。

高岡 陽（たかおか よう）

尾道市立大学芸術文化学部美術学科准教授。グラフィックデザイン専攻。

1988年東京藝術大学美術学科デザイン科V.C.D専攻卒業

～1991年（株）佐藤晃一デザイン室

1991年～2000年 いいデザイン室設立

2000年～2006年 図工室設立

2007年～ 尾道市立大学

現在は、グラフィックデザイン分野の研究制作を行っています。

2013年には映画制作も企画しています。

小畑 拓也 (こばた たくや)

尾道市立大学芸術文化学部日本文学科准教授。アメリカ文学専攻。

主な研究対象は20世紀アメリカのサイエンス・フィクション。活字メディアはもちろん、映像や絵画等の視覚メディアを含む様々な媒体に広がるSF的要素を、人間とテクノロジーの関係の変化という観点から読解・分析しています。一般に現実への働きかけが弱い（役に立たない）と考えられがちな「文学」ですが、人間を人間にしている枠組・要素について調べ、考えるほど、物語と現実の強い結びつきに驚かされます。毒にも薬にもなってしまう強すぎる物語の「副作用」を抑えるにはどうすればよいか、人文学に携わるものとして今までの自分の研究と並行・交差させながら考えているところです。

藤沢 毅 (ふじさわ たけし)

尾道市立大学芸術文化学部日本文学科教授。日本近世文学専攻。

特に読本（よみほん）、通俗軍書など江戸時代後期の散文学を対象としています。今回は専門とは違う、高垣眸作品に挑戦してみました。高垣眸作品はエンターテインメント性という意味で、私の専門と通じる所があるのではないかと考えています。学生が、あるいはこれからの若い世代の人が、高垣眸の作品を研究対象にしてくれることを期待します。ただし、研究対象にすることは、場合によってはその作品の欠点も暴きだしてしまうことがあります。高垣眸鼠員の尾道市民の皆様、ご了承、ご海容くださいませ。

尾道市立大学地域総合センター叢書 6

印刷・発行日 2013年3月

編集・発行 尾道市立大学地域総合センター

〒722-8506

広島県尾道市久山田町1600-2

TEL (0848) 22-8311

FAX (0848) 22-5460

印刷所 大東印刷株式会社

〒723-0052

広島県三原市皆実四丁目5番30号

TEL (0848) 62-3389

FAX (0848) 62-3399